



やまぶき会館の舞台に使われているどんちようには、川越まつりの山車が二台向き合い、曳っかわせを行っている様子が描かれています。ちようちに明かりがともされて、夜の曳っかわせのようです。舞台に向かって右側の山車の舞いはきつね、もう一方は猿の面を着けています。山車の周りでは曳き手が双方入り乱れ、町名人のちようちんをさまざまな方向に向けて高く掲げています。大きな歓声に包まれる中、囃子の競演が行われ、祭りは最高の盛り上がりを迎えようとしているのでしよう。

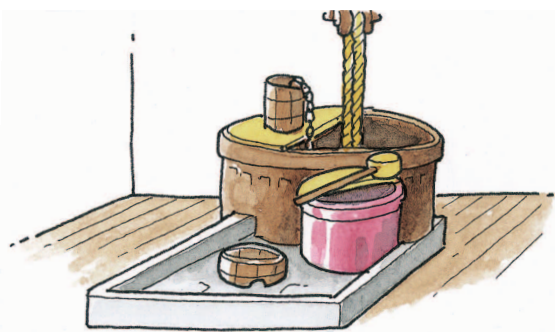
どんちようを見ていると、ことしの川越まつりが待ち遠しくなってきました。



川越ならではの
礼儀作法など

井戸

小江戸のならわし・その七



昔はどの家にもあった井戸。あまり見かけなくなってしまうしたが、川越の水は味がよく評判でした。水を大切にしていたため、「井戸を汚すと井戸神様にしかられるよ」と子どもものこる言われたものです。年に何回かは「井戸替え」といって、井戸の底を掃除して美しさを保ちました。使わなくなった井戸を埋め戻すときは、金ぱくと銀ぱくを一枚ずつ井戸の中に落とし、節を抜いた竹を一本通して、井戸が息をできるようにしました。そして、家に入りにくいとび職が、ていねいに土を入れたものです。自然の恵みに対するいけいの念がそうさせたのでしよう。

*文化財保護協会顧問・宮岡正一郎さんみやおか しょういちろうから伺った話を、広報室がまとめました。

表紙

昨年の川越まつりの様子

(市役所本庁舎前の山車ぞろい)

ことしの川越まつりは、10月20日(土)・21日(日)に開催されます。祭りには、16台の山車が参加。両日、午後2時から市役所前で山車ぞろいが行われます。一度に多くの山車を見ることができるので、各町自慢の山車や囃子の違いを楽しんでみてはいかがでしょうか。参加する山車など、詳しくは8ページ・9ページをご覧ください。



川越城築城550年

川越城が築城されて550年目のことし、さまざまな記念イベントが行われます

◎ 広報川越 1160

発行日/平成19年10月10日(毎月10日・25日発行)
発行/川越市 〒350-8601 埼玉県川越市元町1丁目3-1 <http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>
編集/広報室 TEL049-224-8811内線3521・FAX049-225-2171
印刷/旬新広社